

沙市ノ部

0002

REEL No. A-0129

0000

アジア歴史資料センター

(13)

沙市

1207

3

455

0003

REEL No. A-0129

0000

アジア歴史資料センター

電信課長

大臣

1207

次官

亞細亞

商

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

沙市

分類 11.10.21-5

昭和6 一四五〇四 暗

漢口 本省

九月三十日後發 十月一日前着

亞、人

幣原外務大臣

坂根總領事

第六八六號

沙市發本官宛電報

第二七號

大臣へ轉電アリタシ

第一五號

本官發大臣宛電報第一四號ニ關シ

當地排日風潮ハ茲二三日以來新聞論調頓ニ激越ノ度ヲ加ヘ舉國一致死ヲ賭シテ國難ニ當ルヘシト唱ヘ又鄂市警備司令ハ孫文週記念日ニ

外務省

456

0004

1207

際シ「外國殊ニ日本ノ支那ニ對スル野心ヲ高唱シ日本ハ我統一ノ仇敵ナリ」ト論斷シ居レルモ今尙黨部等ノ策動モ左シタルコトナク從テ一般對日感情ハ寧ロ薄氣味惡キ程平靜ナルカ右ハ官憲ノ取締並ニ黨部員ニ對スル父兄ノ嚴シキ忠告ニ依ルモノナリトノコトナルカ父兄ノ黨部員ニ對スル忠告ハ排日ニ依リ受クヘキ損失打算ノ結果ト見ルヲ得ヘク官憲取締ノ嚴ナルハ我ニ對スル厚誼ト云フヨリハ寧ロ排日騷擾ノ場合市内ニ潛入セル共產黨員カ之ニ乘シテ水災難民ヲ使嫉シ暴動惹起セラレンコトヲ恐レ居ルモノト思料セラルル處各地排日ノ惡化激越トナルニ連レ當地モ亦今日ノ平靜ハ持續シ難カルヘシト想察セラル當地狀況ハ敍上ノ通ナルカ萬一又慮リ海軍側ト協議在留民ヲシテ内密引揚準備ヲ完了セシメ居リ在留民亦極メテ冷靜ナル態

外務省

457

0005

第 送 外

電信課長
大臣
次官
亞細亞
歐米
通商
條約
情報
文化
人事
文書
會計

大臣

次官

1207

(分類 A.1.1.021-5)

昭和6 一四九四四 暗 漢口 五日 後發 亞
本省 十月六日前着

幣原外務大臣
第六九八號
沙市發本官宛電報
第二七號
大臣へ電報アリタシ
第一六號

其後ニ於ケル當地排日風潮左ノ通り
一、當地反日會主催トナリ十月一日同會ニ於テ十月十日ノ國慶記念日
祝賀準備會ヲ開キ各會代表ヲ召集シテ右準備ノ協議ヲ爲シタル後

459

0007

外 務 省

1207

度ヲ以テ時局ノ推移ヲ注視シ居ルモ既ニ宜昌ヨリハ一部婦女子ノ引揚下江セルアリ而シテ各地ノ狀況ニ顧ミル時ハ宜昌殘部ノ在留民及重慶在留民ノ引揚亦遠カラサルヘシト存セララルルニ付其場合ニ際シテハ當地在留民ヲシテ引揚シムルコトハ已ムヲ得サルベキ儀ト思料セララルカ其際本官及館員ノ執ルヘキ進退ニ付御訓令ヲ請フ

尙當地在留本邦人婦女子ハ當館々員家族(女三内一人ハ妊娠七ヶ月子供四名)ノミナルカ萬一ノ場合ニ於ケル手足纏ヒナキ様適當ノ時機ニ引揚ケシメ度キニ付何分ノ儀御回訓ヲ請フ

支ヨリ南京、上海へ轉報シ、奉天へ轉電アリタシ

支、北平へ轉電アリタシ

458

0006

外 務 省

郭警備司令等中心トナリ排日行動ノ具體化ヲ商議シ長時間ニ亘リ
 討論ヲ重ネタルモ商會及有力市民ハ餘リ之ニ氣乘リセス特ニ具體
 的對策モナク散會シタル趣ナリ

一、右ニ關シ内探シタル處ニ依レハ散會後市中有力者數名ハ郭警備司
 令ヲ訪ヒ餘リ排日ヲ煽動シ無賴漢及共產分子之ニ乘シ騷擾ヲ逞フ
 シ延テ萬一在留日本人ニ危害ヲ加フルニ至ラハ日本側ニ於テ自衛
 ノ爲軍艦ヨリ市中ニ砲撃ヲ加フルカ如キコトアラシカ市中必ス大
 火災ヲ起シ市民ノ蒙ルヘキ損害甚大ナルヘシト思ハルルカ之ニ關
 シ郭ニ於テ全責任ヲ負フヘキヤト質問シタルニ之ニハ郭モ頗ル困
 惑シタルモノノ如ク何等答フルヲ得ス有耶無耶ニ終レリト云フ

以上ノ通りナルニ付本官ハ三日附公文ヲ以テ郭ニ對シ嚴重排日取締

外務省

及在留本邦人保護方ヲ要求スルト共ニ若シ不幸ニシテ事端發生セハ
 夫ハ取締不行過ニ依ルモノナルニ付郭ニ於テ當然全責任ヲ負フヘキ
 モノナリトノ警告ヲ與ヘ置ケリ尙三日モ反日大會開催ノ趣ナルニ付
 成行内庭中御參考迄

支ヨリ上海、南京へ轉報シ、奉天、北平へ轉電アリタシ

支へ轉電アリタシ

外務省

會文人情條通歐
計書事化報約商米

次大臣

1207

電信課長

亞細亞

録A.1.10.21-5)

左ノ通

往電第二九號(大臣宛電報第一七號)所報ノ荆沙反日救亡大運動會
ハ七日午前十一時ヨリ沙市童家花園ニ於テ開催セラレタルカ其概況

第一八號

大臣へ轉電アリタシ

第三一號(八日後)

沙市發本官宛電報

第七一七號

幣原外務大臣

昭和6 一五七六三 暗

漢口 十二日後發
本省 十月十三日前着

坂根總領事

亞

462

0011

外務省

録A.1.10.21-5)

1207

次次
長官

第一四三番電

沙市八日情報(堅田)

一七日及日大會ノ示威遊行ハ官憲ノ反對ニ依リ取止メタルモ
八日午前三旅九團ノ第三營ハ青龍刀ヲ背負ヒ反日
標語ヲ記セル旗ヲ持テ遊行セリ邦人居住方面ニハ来ラズ
邦人商店ノ手形通用セズ全ク營業不能トナル
七日来市内ニ及日傳單急ニ増加シ益々惡化ノ兆アリ

八日

六、一〇、九、

一四〇〇、

無線

安宅 着(四七八)

遺司令官

沙市

348

0010

一、參集者約二千（主トシテ軍部員、兵卒、公安局員、巡警、黨部員及無職ノ徒、學生等ニテ實業家側ノ參會者ハ比較的少數）郭司令開會ノ辭ヲ述ヘ同時ニ對日交渉ハ中央政府行フヘキニ付在留日本人ニ對シ直接行動ニ出ツル勿レト前置シ乍ラ極メテ激越ナル口調ヲ以テ排日ヲ煽動シ市民ノ氣慨ナキヲ罵リ排（日）宣傳游行ヲ行フヘシト説キ其他黨部員、縣知事學生等立チテ何レモ悲憤慷慨排日煽動的演説ヲ爲シ午後一時半散會セリト

二、右散會後郭ハ大游行ヲ行ハントシテ勸説ニ努メタルモ市民有力者之ニ反對シ唯學生ノ一部カ市中ヲ游行シタルノミニテ本邦人居住ノ區域ニハ來ラス四時頃散會セリト云フ

三、本八日右大會ノ一般民衆心裡ニ及ホセル影響ヲ見ルニ一般ニ頓ニ

外務省

對日感情惡化セルモノノ如ク本邦人通行ニ際シ惡罵嘲笑ヲ浴セ掛クルニ至リタルカ殊ニ無智ナル兵卒等ハ對日宣戰セハ無給ニテ差支ナシト高言シ居リ心アル支那人ハ本邦人使用支那人ニ對スル迫害ヲ豫想シ之ニ對シ餘リ外出セサル様注意シツツアリ

四、游行ニ對シ市中有力者中ヨリ反對アリタル消息ニ付テハ市民力當館ヨリ郭司令ニ對シ排日取締及本邦人ニ對スル暴行警戒方ニ關シ嚴重警告ヲ發シタルコトヲ周知セルト一方我方トシテハ假令如何ナル示威游行ヲ行フトモ其目標ヲ失ヒ氣拔セシメンカ爲且又事端發生豫防ノ爲當館軍側ト協力シテ其準備ヲ爲シ在留民ヲ軍艦ニ收容シ靜ニ形勢ノ推移ヲ傍觀シツツ嚴重ナル警戒ヲ爲シ居リタルコトヲ目撃（當館及海軍側ノ行動ハ絶エス内偵セシメアルモノノ如シ）シタルカ

外務省

寫送先

會文人文情條通歐
計書事化報約商米

大臣

次官

1207

電信課長

亞細亞

11.10.21-5

1207

昭和6年十一月十二日午後發
漢口 本省 十月十三日前着 亞

幣原外務大臣
第七一九號
沙市發本官宛電報
第三二號
大臣へ電報アリタシ
第一九號

當地反日感情ハ遽ニ惡化ノ傾向アルモ未タ在留本邦人ニ對シ直接危害ヲ加ヘントスルカ如キコトナキモ（在留邦人少ク從テ市中邦人通行ノ稀（ナル）カ爲カ）彼等ノ慣用手段タル消極的戰法排貨及經濟

466

0015

外務省

爲萬一ヲ慮リ有力支那人間ニハ相當恐怖心昂マリ郭ニ對シ強硬反對シタルカ爲ナリト云フ

五郭ハ昨日示威游行ヲ敢行シ得サリシムシヤクシヤ紛レカ本八日午
前其部下軍隊ヲシテ排日標語ヲ書キタル赤青ノ旗ヲ掲ケシメ市中目
拔ノ場所ヲ游行セシメタリ尙來ル十日双十節ニモ排日大會アル趣ナ
リ御參考迄

公使ヨリ上海、南京へ轉報アリタシ
公使ヨリ北平、奉天へ轉電アリタシ
公使へ轉電アリタシ

465

0014

外務省

絶交ハ當地軍部ノ後楯ト黨部ノ強要ニ依リ漸ク酷烈ナラントシ樂觀ヲ許ササルモノアルカ之カ影響ヲ見ルニ日貨ノ輸入ニ付テハ今日ニテハ日貨ノ荷揚殆ト絶ユルニ至リ又市中支那人雜貨商ノ大部分ハ日貨ヲ取扱ヒ居ルモノナルカ之亦商品ノ缺乏ヲ來シ資金ノ運用意ノ如クナラス何レモ困難ノ態ナリ輸出ニ付テハ既ニ土貨取引期ニ入りタル今日水災ノ爲棉花雜穀ノ出廻拂底ナルト加フルニ支那人側ニ於テ後日反日會ノ迫害ヲ恐レ全然日本商人トノ取引ヲ中止シ居レルカ假令取引ヲ爲シ得タリトスルモ銀行及錢莊ニ於テ邦商トノ爲替取組ヲ拒絕シ居ル等ノ事實アリ旁々當地邦人輸出商（當地ニハ輸出邦商以外邦商ナシ）ハ全ク四苦八苦ノ雜境ニ墜ルノ已ムヲ得サル状態ニアルモノノ如シ既ニ吉田洋行（漢口吉田洋行出張所）日華洋行（漢

外務省

口日華製油會社出張所）ノ二商店ハ取引出來サル爲機ヲ見計ヒ漢口ヘ引揚一時休業スヘキ様内命アリタルモノノ如ク又邦人醫師一名モ患者ノ減少ヲ來シ居レルカ當分回復ノ見込立タス經營困難ニ至ルヘキヲ見越シ近ク上海ヘ引揚ノ準備中ナリ

御參考迄

公使ヨリ上海、南京ヘ轉報シ北平、奉天ヘ轉電アリタシ

公使ヘ轉電アリタシ

外務省

大臣 1207
 次官
 電信課長
 亞細亞
 歐米
 通商
 條約
 情報
 人文
 文書
 會計

(分類 1.1.1.0.21-5)

昭和6 一六六七九 暗
 漢口 十九日後發
 本省 十月十九日後着
 幣原外務大臣
 第七三八號
 市發本官宛電報
 第三四號
 大臣へ電報アリタシ
 第二三號
 其後當地ニ於ケル排日策動ハ宣傳隊等ノ横行之無ク表面ニ現レタル
 現象トシテハ排日排貨經濟絶交等ヲ大書セル宣傳「ピラー」ノ貼布増
 加ヲ見ツツアルカ潛行的策動ハ一日ト深刻ヲ加ヘ居ルモノノ如ク

漢口五平街
 排日排貨
 保一併

坂根總領事
 亞

469 0018

外務省

1207

本邦人使用支那人ニ對スル脅迫激甚ナルニ至レリ之カ爲(一)當館支那人文案ハ迫害ヲ惧レ解雇ヲ申出タルニ付當分自由出勤トシ所蒙アル場合呼出スコトトシ(二)本邦商瀛華洋行(漢口ニ本店アリ)ハ現在一支那人ニ店務一切ヲ委ネ居レル處之亦反日會ノ迫害ニ堪ヘス表面瀛華トノ關係ヲ斷チタルコトトシテ其看板ヲ撤去スルニ至レリ(三)市中ニハ夜間通行ノ日本人ヲ襲フヘシ等種々噂モアルニ付本邦人夜間外出ヲ差控ヘシメ居レリ尙以上ニ關シ支那側へ嚴重抗議セリ
 公使ヨリ上海へ轉報アリタシ
 支ヨリ北平、奉天へ轉電シ青島へ轉報アリタシ
 支へ轉電アリタシ

470 0019

外務省

寫送先

大臣 電信課長 1207
次官 亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

(分類 1.1.1.2.21-5)

1207

依テ吉田洋行ヨリ滿洲事變ノ發生原因及其後ノ成行並ニ我國ノ之ニ對
スル穩健ナル態度ヲ説明シ斯カル政治的問題ハ兩國政府間ニ於テ然
ルヘク解決スヘキ性質ノモノナルニ付商人トシテハ依然取引ヲ持續
スルコト双方ノ爲ナルノミナラス延ヒテ日支兩國ノ利益ナルヘキ旨
説示シ取引應諾ノ勸説ニ力メシメタルモ尙納得セサルニ依リ其理由
ヲ質シタル處支那商ハ「滿洲事件發端ノ是非曲直カ何レニアルヤハ
別トシテ日本軍ハ更ニ進ンテ錦州ヲ占領シ無辜ノ民三萬ヲ殺シタル
由ナルカ我等ハ斯カル暴虐ナル國民トハ取引スルヲ好マス」ト言ヒ如
何ニ右虚構ノ宣傳ナルコトヲ説明スルモ頑トシテ取引應諾ノ模様ナ
カリシ趣ナルカ右支那商ノ執レルカ如キ態度カ果シテ錦州事件ニ依
リ一般的ニ誘致セラレ居ルモノナリヤ又右カ反日會等ノ策動ニ依ル

外務省

472 0021

外務省

昭和6 一六七四六 暗 漢口 二十日後發 本省 十月二十日後着 亞
幣原外務大臣 坂根總領事
第七四〇號
市發本官宛電報第三五號
外務大臣へ電報アリタシ
第二四號
滿洲事變ニ基因シ當地在留本邦商ニ於テ商取引不可能ノ苦境ニ陥リ
タル次第ハ漢口宛電報第三二號(大臣宛電報第一九號)ヲ以テ不取
敢電報致シ置キタル處其後吉田洋行ヲシテ試ニ從來密接關係アル支
那商ニ對シ雜穀ノ取引商談ヲ爲サシメタルニ支那商ハ之ヲ拒絕セリ

471 0020

寫送外

大臣 次官 電信課長 1207
亞細亞 歐米 通商 條約 情報 人文 人事 文書 會計

分類 41.10.21-5

昭和6 一七二六七 暗 漢口 十月廿五日後發 亞
幣原外務大臣 坂根總領事
第七五〇號
沙市發本官宛電報 第三六號
大臣へ轉電アリタシ
第(脱)號
當地排日狀況ニ關シ二三日以前ヨリ市中各所ニ「沙市抗日救國會」ナル名稱ヲ以テ排日傳單ノ貼付ヲ見ルニ至リタルヲ以テ右抗日救國會カ果シテ實在ノモノナリヤ將又從來ノ荆沙救國反日會ト如何ナル關

474 0023

外務省

1207

コトナク自發的ノモノナリヤハ未タ判明セサルモ引續キ内債中ナルカ錦州事件ニ依リ對日感情惡化ノ度ヲ高メラレツツアルコトハ市中人氣ノ惡化ニ徴スルモ之ヲ否定シ難シ右不取敢御參考迄
公使ヨリ上海、南京へ轉報アリタシ
支ヨリ北平、奉天へ轉電アリタシ
支へ轉電セリ

473 0022

外務省

ヲ支持シ居ルハ勿論沙市保衛團側ニ於テモ亦之ヲ支持スルモノノ
 如ク現ニ右事務所ヲ沙市保衛團本部内ニ置ケルカ右費用ニ付テハ
 何等一般ノ合力ヲ乞ハス商人自身ノ出資ニ係ル保衛團費ノ一部ヲ
 之ニ充テツツアル状態ナレハ一般市民ハ勿論荆沙反日救國會ノ委
 員タル郭司令スラ之ニ好意ヲ表スト云フヨリハ寧ロ積極的ニ
 シツツアリト云フ

一、右ノ結果從來荆沙反日救國會ノ遣口ニ反感ヲ懷キ居タル一般市民
 ハ勢沙市抗日會ニ同情ヲ表スルコトトナルヘク從テ前者ハ有名無
 實トナリ自然消滅スルニ非スヤト一般ニ觀測サレツツアルモ何分
 ニモ黨部員ヲ中心トスル無賴漢ノ集合團體ナレハ今後兩者間ノ軋
 轢ハ見物ナルヘント思ハル尙後者成立ノ動機カ前述ノ通ニテ主成

外務省

係ニ在ルモノナリヤヲ内偵シタル處大要左ノ如シ

一、沙市抗日救國會ハ荆沙救國反日會トハ何等關係ナク寧ロ之ニ對抗
 シテ成立シタルモノノ如ク其動機ハ從來度々ノ排日貨ヲ行フニ當
 リ黨部其他ノ無職ノ徒カ愛國ニ名ヲ藉リ市民ヨリ資金ヲ強要私腹
 ヲ肥シ居タルカ今回ノ排日ニ際シテモ縣黨部指導ノ下ニ在ル荆沙
 排日救國會カ日貨登記ニ藉口シ手當リ次第日貨ヲ檢定シ登記ヲ強
 要シ不當ナル手数料ヲ納付セシムルノミナラス種々名目ヲ附シテ
 一般商人ヨリ金錢ヲ強要スル等横暴^五ヲサルナキ爲商人側ニ於テ
 憤激シ前記沙市抗日救國會ナルモノヲ組織シ各自所有ノ日貨登記
 (無手数料)及排日工作ヲ行フコトトナレルモノナリ

一、右沙市抗日會ニ對スル一般ノ態度ヲ見ルニ商人側ニ於テ擧ツテ之

外務省

寫送先

會文人文情條通歐亞
計書事化報約商米細亞

大臣
次官

電信課長

1207

1207

(分類 11.1.0.21-5)

昭和6一七四四〇 暗 漢口 廿六日後發
本省 十月廿七日前着 亞
幣原外務大臣
第七五六號
市發本官宛電報
第三七號
大臣へ轉電アリタシ
(無號)
當地排日ニ關ル本月二十日ノ當地新聞紙上ニ突然當地日清代理店
買辦吳志祥外二名連名ヲ以テ日清トノ關係ヲ絶チタル旨並ニ吳ノ名
ニ於テ從來日清代理店事務所トシテ日清ニ貸與シ居タル家屋倉庫其

478

記 0027

外務省

記録簿

滿洲日支關係一件

日清關係一件

分子カ主トシテ商人側ヲ中心トスルモノナルニ依リ其排日的工作
亦自ラ穩健ナルモノナル趣ニ付今後同會ノ發達如何ニ依リテハ或
ハ幾分反日感情ノ緩和ヲ見ルニ非スヤト觀測セラル御參考迄
支ヨリ上海、南京ニ轉報アリタシ
支ヨリ北平、奉天へ轉電アリタシ
支へ轉電アリタシ

外務省

477

0026

他一切ノ建物ヲ回收シ今後日清ト關係ナキ旨ノ新聞廣告掲載シアリ
 タルニ付同社當地出張員ニ問質シタル處同出張員ニ於テモ右ニ關シ
 何等相談ヲ受ケタルコトナク右ハ目下上海ニ在ル買辦吳ニ於テ獨斷
 ヲ以テ取計ヒタルモノニテ勿論日清漢口支店ニ於テモ關知セサルコ
 トナルヘシトノ趣ニテ右出張員ニ於テモ直ニ漢口ヘ問合中ナルカ吳
 カスル廣告ヲ爲スニ至リタルハ排日ノ勃發ニ依リ吳ニ對シ排日會等
 ノ脅迫ヲ恐レ居ルト萬一暴動惹起ノ際右建物カ從來日清ノモノトシ
 テ支那側ニ知ラレ居ル關係上之ヲ破壞サレンコトヲ恐レタルニ依ル
 モノト思ハル

元來右建物ハ日清ヨリ吳ニ對シ資金ヲ貸與シテ建築セシメ吳ハ資金
 償却迄之ヲ擔保トシテ日清ニ提供シ居ルモノナル由ナルカ從來支那

外務省

側ニ對シテハ日清所有トナリ居リ當館トシテモ亦同様取扱ヒ居ル關
 係上前記廣告ノ意味スルカ如ク支那側ヲシテ右建物ハ吳ヨリ日清ニ
 貸與シ居タルモノナリト解セシムルコトハ今後當地支那官憲ヲシテ
 當館ノ事務處理ニ對シ疑惑ヲ抱カシムルコトトナリ延テハ我在支公
 館ノ威信ニ及ホスコトト思考セララルル處然リトテ一端廣告シタル上
 ハ今更之ヲ取消サシムルコトハ却テ奇異ヲ感セシムル次第ナルニ付
 右善後措置貴地日清側ト然ルヘク御協議アリタシ

尤モ時局ニ關シ右建物處理方ニ付テハ當地日清出張員ヨリ貴地支店
 ニ對シ屢次報告待命中ナル趣ニテ同支店ニ於テモ委細承知ノ筈
 支ヨリ北平、奉天へ轉電シ上海、南京へ轉報アリタシ

支へ轉電アリタシ

外務省

高

1207

公領機密第二號
昭和六年十月二十八日
在沙市
領事館事務代理 浦和四郎
在上海
特命全權公使重光葵殿
排日狀況ニ関スル件
貴電合第一四〇九號ニ関シ
一當地排日狀況ハ當初ヨリ何等游行又ハ宣傳
隊等ノ横行ヲ見ス單ニ排日討論會等名
目ノ下ニ縣黨部ヲ中心トシ官憲筋ノモノ之レニ

在沙市日本領事館

482

0031

情

1207

機密第六七號
昭和六年十月二十八日
在沙市
領事館事務代理 浦和四郎
外務大臣男爵幣原喜重郎殿
昭和六年十月二十八日附公領機密第一二號在上海
特命全權公使宛公信寫送付ス
件名
一、排日狀況ニ関スル件

在沙市日本領事館

481

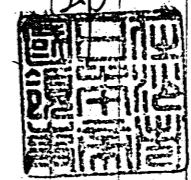
0030

原副亞員

第一課

昭和六年十月拾日 別紙添付

機密第六七號 (中略) 浦和四郎



合作之排日氣勢ヲ煽ラントスルモ未タ一般的示威游行ノ舉無ク唯排日宣傳曰エ等ノ市中各所ニ貼付セララルルモノナリ而シテ右排日的工作、關シテハ縣党部主トシテ當地方面警備ノ任ニアル劉湘旗下ノ郭勛(上游剿匪第一路司令)始メ中國官憲之シテ支持シ殊ニ郭勛カ排日煽動主魁タル事ハ所謂總理紀念週日等ニ於ケル彼ノ言辭ニ徴スルモ明白ニテ之レハ對シ再三嚴重警告ヲ與フルト共ニ取締方申入タルモ彼ハ言ヲ愛國心ノ發露ニ藉リ單ニ在留邦人生命財產ノ保護ヲ為スヘキヲロニスルモノナリ依テ彼等官憲カ排日主魁タルノ證據入手ニ苦心申ナリ

一、今回當地吉田洋行(漢口吉田洋行支店)カ中國

在沙市日本領事館

余余克明ナルモ、其妻取引ヲ契約シ本月二十七日現品受渡ニ際シ荆沙反日救國會ノ阻止ヲ受テ取引不可能トナリタルヲ以テ直ニ嚴重抗議スルト同時ニ取引続行セシムル取締方申入置ケリ

一、見平靜ナル方如キ當地排日工作ハ愈潛行的ニ深刻トナリ土貨ノ取引杜絶(水災ノ為メ出廻り少クモ一因ナリ)ノ為メ日華洋行(漢口日華製糖會社出張所)ハ一時閉店スルヤテ出張貸付店務ヲ整理シ昨二十日漢口ニ引上ケタリ

一、既電ノ通り現在當地ニ於テハ荆沙反日救國會(縣党部系)及沙市抗日救國會(商人系)ノ二團體ナリ後者前者カ日貨發賣

在沙市日本領事館

料、徴收或ハ登記料增收ノ目的トシテ本館在
 日債檢定又ハ各種名目ノ下ニ金銀ノ強要ニ等
 ナ横暴ヲ幟リ商人側ニ於テ創設シタルモノニ兩有
 友目排日傳單ニ於テ双方其ノ鋒銳ヲ露シ
 ハアリ
 一沙市職業中學校學生ハ去ルニ十日校内ニ於テ
 學生大會ヲ開キ「校國會」ナルモノヲ組織シ職
 員又之ニ合作シ排日工作ヲ為シツアルガ右校會
 會則別添ノ如キ滿州地圖ニ枚ヲ作製シ市中
 街貫ノ場所ニテ所及江岸招商局磁頭一系
 三揚示シタルカ右地圖ハ從來ノ傳單又ハ繪馬
 等ト異リ俗級民衆ニモ理會容易ニテ露宜
 傳ニハ極テ効果アルモノト認テ多量ニ作製スル

在沙市日本領事館

初分係"
 上海多使ヲ
 無作付ハ使
 送付紙アリ

收受係

結果今二十八日拂曉前記磁頭揚載ノ手入
 手シタルニ付脚際覽ニ供ス
 右脚參差追此段申進又
 追テ別添地圖ハ唯一枚ニテ餘分無之且當館
 ニテ之レヲ寫真トスルニ困難ナルニ付ヤ貴地ニ
 於テ寫真トシ別新大臣宛機密第六七號ニ
 添付轉送方脚配慮相煩度尚當館ニモ五
 枚脚送付相成様致度シ
 本信寫送付先 本館

在沙市日本領事館

大臣 次官 電信課長 1207
亞細亞 通商 條約 情報 文化 人事 會計

(分類 A. 1.1.0.21-5)

昭和6 一八一六二 暗
幣原外務大臣
第七七八號

漢口 三日發
本省 十一月三日後着

坂根總領事

記録 洲日支衝突事變關係 件
排外 係

市發本官宛電報

第三九號

大臣へ電報アリタシ

第二五號

當地ニ於テ現在荆沙反日救國會(黨部系)沙市抗日救國會(商人系)ノ二排日團體對立スルニ至リタル次第ハ往電第三六號所報ノ通りナル處後者ニ對シ前者ノ反感ハ日ニ高マリ市中貼付ノ後者宣傳「ピラ」

外務省

487

0036

1207

ト並ヘテ「打倒偽革命之土豪劣紳」等ト書キタル「ピラ」ヲ貼付シ挑戰的態度ニ出テツツアリ後者ニ於テモ又密ニ應酬セント目論見居タルモノノ如ク右ニ關シ當館ノ内偵スル所大要左ノ通り
一、本月廿五日沙市抗日救國會ハ總會ヲ開キ反日救國會ノ橫暴膺懲手段ニ付協議シ省黨部ニ對シ反日會橫暴ヲ訴ヘ其取消請願及同會ニ對シテハ經費收支決算報告ヲ迫ルコトノ決議ヲ爲シタルノミニテ他ニ特別ノ決議ヲ見ス但省黨部ヘノ請願ハ直ニ打回セル趣ナリト
一、廿六日右兩會聯合總會ヲ開キ反日會ヨリ經費收支報告ヲ終ヘタル後反日會一委員ハ臨席ノ抗日會一委員カ日本商人ト土貨取引契約ヲ爲シタル事實ヲ指摘シ「斯ル奸商ハ打倒シテ世ノ見セシメト爲スヘシ」ト頑張りタル結果双方會員總立トナリテ怒號騷擾ヲ極メ遂ニ格

外務省

488

0037

1207

聞ニ至ラントスル有様ナリシモ軍隊ノ出動ニ依リ漸ク鎮靜セル趣ナ
リ右ノ結果反日會ハ抗日會ノ非ヲ指摘シテ之ヲ解散セシムル様省政
府ニ打電請願(セリ)ト云フ
一前記反日會委員ノ摘發セル邦商トノ取引ト稱スルハ當地吉田洋行
カ最近試ニ當地支那製麵商ト懸五百袋ノ賣買契約ヲ爲シタルモノ
ニテ右契約品ハ六日早朝荷渡ノ手配ト成リ居タルモ前記ノ結果反日
會ノ妨害ヲ受ケ取引不可能トナリタリ依テ當館ハ郭司令カ彙ニ公文
ヲ以テ在留本邦人生命財産ノ保護ニ當ルヘキ旨ノ回答ヲ引用シ排日
行爲取締ノ猶ホ行届カサルコトヲ指摘シ抗議回答ヲ求メ置ケリ
一前記支那商ハ該取引契約日附(豫メ反日會ノ妨害ヲ慮リ契約日附
ヲ七月廿日トシ居レリ)カ七月廿日ヲ楯トシ官憲並ニ反日會ニ嚴談

外務省

489

0038

1207

中ニテ他方吉田洋行側ノ支持ヲモ希望シ居ル趣ナリ
敘上ノ通りニテ今後兩者ノ確執ハ相當見物ナルヘシト思考セラレ
支、北平、南京、奉天へ轉電アリタシ
支ヨリ上海へ轉報アリタシ

外務省

490

0039

寫送先

大臣 電信課長 1207
次官 亞細亞
通商 條約 情報 文化 人事 會計
歐米 亞細亞

分類 A.11.0.2-5

1207

テ各界大會ヲ開キテ此ノ種團體ヲ解散シ沙市反日救國會ナル名稱ノ
 下ニ改メテ反日團體ヲ組織スルコトトナリタルカ之ニ至ル迄ニハ相
 當迂餘曲折アリタルモノト認メラルルニ付目下内偵中ナルモ其ノ内
 容ハ從來ト大差ナキモ只黨部員ノ右委員ノ減少ヲ見執行委員九名中
 黨部四名商會四名教育會一名ニテ經費ハ荆沙反日救國會ノ經費殘六
 百弗ヲ引繼支辨スルコトトシ日貨登記料ハ勿論其他ノ名目ヲ以テ商
 人又ハ一般市民ヨリ費用ヲ徴收セサルコトトセル趣ナリ右何等御參
 考迄
 支ヨリ上海へ轉報アリタシ
 支、北平、南京、奉天へ轉電セリ

外務省

492

0041

外務省

昭和6 二〇六三六 暗 漢口 廿四日後發 亞
 本省 十一月廿四日後着
 幣原外務大臣
 第八一六號
 沙市發本官宛電報
 第四一號
 大臣へ轉電アリタシ
 當地ニ於テ二排日團體對立確執ノ狀況ニ關シテハ往電第三九號ノ通
 ナルカ右ニ關シ省黨部ヨリ黨員毛竹如ナルモノヲ當地ニ派遣スルコ
 トトナリ毛ハ十一月三日來沙兩者ノ間ヲ奔走シテ和解方斡旋ニ力メ
 タル結果既存二排日團體ニ於テハ夫々熟議ノ上此ノ際沙市商會ニ於

記録簿 沙市反日救國會關係一件

491

0040

秘密第七六號

昭和六年十一月二十日

在沙市

領事館事務代理浦和四

外務大臣男爵幣原喜重郎殿

沙市排日団体ノ分離並合併ノ件

日軍、高寶山事件及解内事件ノ發生スルヤ當地ニ陵
縣党部主唱ノ下ニ一般紳商連ハ之レニ引摺ラレタル形ニテ
荆沙反日護僑救國會ノ組織サルニ至リタル次第ハ往電
第一一號(漢口宛電報第一八號)及九月七日附機密第五
八號ヲ以テ所報ノ通りナル處次テ九月十八日滿洲事件勃

在沙市日本領事館

第一課

昭和六年三月拾六日

満事 反日

0042 (記)

495

発スルニ當リテ前記排日団体ノ名稱ヲ荆沙反日救國會
ト改メ委員其他ノ関シテハ改変無ク依然縣党部員之
レカ牛耳ヲ執リ當地官憲筋亦陰ニ陽ニ之レヲ支持シ来リ
タルモ日ヲ経ルニ伴レ執行委員(党部出身)ノ横暴漸ク
甚シク一般ノ利害ニ何等ノ考慮ヲモトモト無ク愛國
排日ノ藉口シ各種好マシカラサル行為アリ一般市民間ニ
迷惑ヲロニスルモノアリ特ニ紳商間ニ於テ之レニ對スル不
平不滿ハ日ヲ追フテ昂マリ遂ニ十月中旬之等商人側
ニ於テ別ニ「沙市抗日救國會」ナルモノヲ組織シ前記荆
沙反日救國會ト分離對立スルニ至リタル次第ハ往電第
二四號(漢口宛電報第三六號)ヲ以テ不取敢及電報置
キタルカ再末兩者ノ確執ハ事々々露骨トナリ前者ハ宣傳
ビラヲ市中各所ニ貼付シテ後者シテ豪劣紳ト呼

在沙市日本領事館

0043

496

此之レヲ打倒スヘト叫ビ内華ニ日ヲ莫クシ居ルノ觀アリタ
 ル方遊ニ交々相手方ノ解散命令ヲ湖北省政府又ハ省
 党部宛申請スルニ至リ決テ十月三日省党部ハ黨員
 毛竹如ナル者ヲ沙市ニ派遣シ毛カ西者ノ間ニ介在和
 合斡旋ノ結果十月六日西者合併シテ「沙市反日救國會」
 ト改組スルニ至レリ(往電第三七号(漢口宛拙電第四號)之レ
 カ分離合併ノ経緯ニツキ探知スル所大要左ノ如シ
 一商人側分離ノ原因
 荆沙反日救國會執行委員ノ大半ハ縣党部員ヲ以テ之
 レヲ充タシ(九月七日所機密第五八號参照)會務執行ヲ擅行
 シ現在沙市ニアル日領領事館ヲ檢査シ共ノ買入レノ新舊如何
 ノ問ハス店內品從價四分倉庫品從價六分ノ高率ナ
 ル登記料ヲ徴收シ之ニ服從セサルニ於テ理由ヲ價サズ

在沙市日本領事館

一 高品ノ強奪沒收ヲ為スノミナラス尙愛國ニ籍口シテ
 各種名目ヲ附シテ市民ヨリ金員ヲ強要スル等横暴
 至ラサル無ク市民特ニ商人側ハ遂之レヲ忍フ能ハスシテ
 分離スルニ至レリ
 二 分離但織セラレシ沙市抗日救國會
 右會ハ商人ヲ中心トシテ分離但織セラレタルモノニテ其ノ分
 組ノ主旨ト但織者ノ地位富力ヨリシテ日領登記料ハ
 勿論其他何等ノ名目ニ於テモ維持費トシテ金員ヲ徴
 收スルト無ク役員ハ無給ニテ維持費ハ主トシテ彼等ヨリ
 リ但織セシ居ル沙市保衛團經費(商人側及有力者出
 資)ノ一部ヲ之レニ充テ亦對日態度ニツキテモ申譯
 的ニ反日ヲ唱ヘ居タルモ内實ハ出来ル限り溫建態度ヲ
 持シ從テ日領檢査等亦極メテ適宜ノ措置ニ出テ居タ

在沙市日本領事館

リ其ノ職員左ノ如シ(別ニ担任事項無ク合議的ナリシ
 モノ如シ)
 余克明(正明麵廠主、高會員) 耿濟川(保衛團役員)
 邱海泉(保衛團役員) 周毅菴(縣公署員)
 侯仲濤(長江商務報主筆) 冷頌卿(高會員)
 黃元吉(上海銀行常務副長) 龍永鑑(聖公會會長)
 丁相林(棉業代表)

一、確執頭末

商人側但懺、沙市抗日救國會設立ノ動機及對日工作カ
 現下一般民衆生存上極テ適切ナルモノナリシハ本夏水災後
 於ケル市場ノ不況並一般中流以下生活ノ現状ニ鑑ミテ
 時ニ之ヲ首肯シ得ヘク從テ興望、荆沙抗日救國會ヲ去
 ラントシ之レヲ此終放棄セバ同人會ハ自滅ノ外ナシト觀ラレ

在沙市日本領事館

居リタリ茲ニ於テ荆沙抗日救國會側ハ焦慮ニ堪ヘス
 鵠ノ目鷹ノ目ヲ以テ抗日會側ノ行為ヲ監視シ事ヲ
 之レヲ新聞紙上ニ掲載公表シテ惡罵ヲ加ヘ時ニ潛
 行的工作ヲ以テ商人側ヲ脅威スル等ノ舉ヲアリタリニ
 テ抗日會側ハ之レヲ憤リ積日ニ渡ル反日會側ノ非行
 即會ノ維持費ニ充當スヘキ日領登記料及有志
 寄附金カ正當ナル使途ニ費サレ一部委員、於テ着
 腹サレ店ルノミナラス時ニ名ヲ愛國ニ藉リ善良ナル地
 方紳商ヨリ全員強要ヲ為ス等ノ事一實ヲ指摘シ
 反日會ノ存在ハ却テ中國人ヲ毒スルモノナレハ之レヲ
 解散セシムル極命令方ヲ省党部ニ請願スルヤ
 反日會側亦之レニ敷ケス少カラス抗日會ヲ曰シテ愛
 國ニ藉口スル土豪劣紳奸商ノ團體ナリトシテ之レカ取

在沙市日本領事館

横シ方ヲ省政府ニ申請スル等西者争闘ハ日ニ自燃
 化セントシツアリタリ
 一西者軋輒ノ表現
 西者反目對峙ノ大要前述ノ如クナルカ右暗闘ハ寧ロ
 反日會側ヨリ挑発シツ、アルモノノ如ク着ラレ居タルカ之
 レニ對シ抗日會側ニ属スル一部人ニ憤リニ堪ヘス反日
 會委員中特ニ党部關係委員齊懋ノ目的ヲ以
 テ反日會經費收支決算ノ報告ヲ迫リタル結果十月二
 十六日沙市商會内、於テ聯合臨時總會ヲ開キ反日
 會側ハ單一、形式的、辻褄ヲ合セタル會計報告ヲ
 爲シタル後豫テ抗日會委員ニシテ沙市正明麵廠經
 營主タル余克明ニ對シ私怨ヲ懷ケル吳繼賢ナル
 者ハ反日會ノ使喚ヨリ右席上余克明對邦商吉田

在沙市日本領事館

洋行表殼賣買契約ヲ摘発シ「國家危機ノ秋輿論
 ヲ裏切り仇國商ト取引ヲ行フカ如キ奸商ハ之レヲ
 打倒誅殺セヨト罵リ抗日會側亦之レニ對シテ怒
 號シ場内騷擾ニ陥リ珍事勃発ノ兆アリ依テ沙市
 警備司令部ハ急遽出兵シテ鎮撫ニ努メタル結
 果幸フシテ事無キヲ得タル報ナリ(往電第三五號
 (漢口宛電第三九號)參照)
 斯クテ反日會側ハ沙市警備ノ任ニアル長江上游第
 一匪路司令郭勛ニ對シ前記余克明ヲ逮捕直
 ニ死刑ニ處シ範ヲ他ノ奸商ニ示スヘシト迫リタルモ郭
 ハ余カ自己ト同郷ノ四川省出身者トト且問題
 名對 吉田洋行契約カ七月二十日附ニ係ルモノナレハ之
 レヲ指トシテ余ヲ逮捕處罰スルカ如キハ妥當ナラスト

在沙市日本領事館

シテ反日會ノ強要ヲ拒ミシト云フ
 一、兩者ノ合併
 本項ニ関シテハ不取敢往電第三七號(漢口宛地電第四
 一號)ヲ以テ電報致シ置キルカ之レヨリ前湖北省黨
 部ニ於テハ今次滿洲事件解決ノ外交後援ノ主旨
 シテハ江漢黨部中心トナリ沙市ニ於テ新沙反日救國
 會ヲ組織シ對日策動ニ從事スルニ至リテヨリ兎角
 黨部側對商人側ノ關係圓滑ヲ缺キ疎隔ノ溝渠
 日ニ深カラントスルノ報ニ接シ居タル處商人側ニ於テ遂ニ
 沙市抗日救國會ヲ組織シテ商人側獨自ノ見地
 ヲ以テ對日工作ニ出ツルコトナリ爾來確執日ヲ追
 フテ尖鋭化シ民衆心裡亦黨部側ヲ離レントスルモ
 アリ之レヲ推移ニ委スル時ハ縣黨部主宰 新沙反

在沙市日本領事館

日救國會ハ自滅ノ憂目ヲ見ルノ外無ク斯クテハ党
 部威信ノ失墜甚シキモノアリトシ之レカ對策ニ腐心シ
 ツ、アリタルモノノ如クナリシカ吉田洋行對正明麵廠賣
 買契約ヲ切掛ケテ遂ニナリニテ六日ニ於テ兩者軋轉
 表面化ヲ見ルニ至リ省黨部ニ於テハ事ノ等閑ニ附シ
 難キモケルヲ看取シ急遽黨部員毛竹如ナルモノヲ
 派遣シ兩者和解ニ當ラシムルコトナリモハ十一月三
 日着沙市之レカ和解ノ運動ニ着手シ合併以テ團
 難ニ當ラサルヘカラサルヲ説キ抗日會側ニ對シテハ合併後
 ニ於テ黨部ノ關係者ノ委員數ヲ出來得ル限り減少シ
 且ツ日貨輸入ハ之レヲ取締ル為メ糾察ヲ嚴メスルモ登
 記料徴収等ハ之レヲ廢スルコトスヘシ等說得奔走
 ニ努メタル結果漸ク諒解成リ兩者共自覺的ニ之レヲ

在沙市日本領事館

電信課長

大臣 次官

1207

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書

寫送先

昭和6 二一八九九 暗

漢口 本省 十二月六日後着

五日發

坂根總領事

幣原外務大臣 第八五二號

市來電 (暗送) 第四四號 (二十五日前)

昨二十四日午前十一時頃二名ノ支那少年河岸ヨリ軍艦勢多ニ向ヒ投石シ逃走セントシタルニ依リ直ニ水兵ヲシテ之ヲ追跡セシメ一名(十五才)ヲ捕ヘタルト(一名ハ遂ニ逃亡セリ)本官及艦長連名ヲ以テ郭警備司令ニ對シ右引取ノ爲郭自身我軍艦ニ來ルヘキ旨通告シタル處郭ハ掃匪計畫ニ關シ目下多忙ノ爲自身來艦ナリ難キニ付部員ヲ派遣シ度キ旨申越セリ依テ再三押問答ノ結果副官ヲシテ郭ノ代表ト

外務省

0054

507

1207

シテ謝罪シタル公文ヲ所持來艦セシメタルニ依リ勢多艦長ト共ニ之ニ會見本官ハ右ノ如キ行爲ハ日本ニ對スル無上ノ侮辱行爲ナル事ヲ嚴談シ且假令投石者カ少年ナリトシテモ斯カル行爲ヲ爲スニ至リタル原因ハ支那朝野カ無智ノ民衆ニ對シ隱ニ好マシカラサル反日風潮ヲ煽動シツツアルカ爲ナリト看做スヲ得ヘク依テ本官トシテハ親シク郭ト面會ノ上排日取締及今後斯カル不都合ナル行爲ノ發生豫防方懇談シ度キニ付右郭ニ確ト報告シ且確答セラレ度キ旨申入レタル處副官ハ之ヲ承諾シタルニ依リ午後七時投石者ヲ引渡セリ支、北平、南京、奉天へ轉電アリ度シ。

0055

508

外務省

寫送先

大臣 次官
電信課長
亞細亞
歐米
通商
條約
情報
文化
人事
會計

1207

分類 1110, 215

1207

昭和7 二七一五 暗
漢口 三日後發
本省 二月四日後着
亞

芳澤外務大臣
坂根總領事

第六六號

沙市發本官宛電報第三號

大臣へ轉電アリタシ

第三號

本月二十八日以來當市中ニ馬援義勇團ト自稱スル約二十名ノ青年現
ハレ「自分等ハ救國馬援ノ爲滿洲ニ赴クモノナルカ倭奴ヲ驅逐シ其
肉ヲ喰ヒ血ヲ啜ラスンハ死ストモ歸ラス吾人ハ此ノ國家危急存亡ノ
秋奮起國難ニ當ル可シ」ト支那一流ノ悲憤慷慨ノ言辭ヲ弄シ民心ヲ

外務省

滿洲日帝關係
排日排華
排日排華
排日排華

煽動シ居レルカ右ハ四川省開江縣ノ抗日援馬義勇團ト稱スル學生及
軍人ヨリ成ル團體ニシテ赴滿ノ途次船待チノ爲當地滯在中ノモノナ
リト云フモ民心ニ大ナル反響無キモノノ如シ尙上海事件ニ關シテハ
目下ノ處當地ニハ左シタル衝動ヲ與ヘ居ラサルモノノ如ク郭司令ハ
往電第二號（大臣宛電報第二號掃匪ノ爲二十九日周家嘴（沙洋ト潛
江ノ中間）ニ向ヒ出發セリ
支、北平、奉天、天津、南京、九江、長沙、宜昌ニ轉電セリ

外務省

510

0057

509

0056

電信課長

大臣 1207

次官

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 會計

寫送先

昭和7 三二七六 暗

漢口 本省

九日後發 二月九日後着

人

芳澤外務大臣

第九一號

本官發在支公使宛電報

貴電第九號ニ關シ

沙市浦和ハ本八日午後入港ノ信陽丸ニテ松浦巡查帶同宜昌ヨリ當地迄不取敢引揚ケ來レル處右ハ全ク沙市警備ノ帝國軍艦不在トナレル爲万一同地ニ於テ事端ヲ起シ累ヲ當方面一帶ニ及ホス場合ヲ懸念セシ同官ノ心遣ヒヨリ出テタル臨機ノ措置ナルニ付右事實御了承アリタク別ニ御異議モナキニ於テハ當分當地ニテ時局ヲ見極メ海軍側ト

記録簿ニ於ケル日支衝突事變關係件

坂根總領事

511

0058

外務省

1207

モ打合ノ上適當ノ時機ヲ得次第任地ニ歸還セシムルコトト致シタシ沙市、宜昌トモ重要書類ハ大部分當館ニ於テ保管スルコトトセリ公使、北平、南京、長沙、九江、宜昌ニ轉電セリ

512

0059

外務省

1207

七、三、一三、一七〇〇
一九五〇

無線

安宅系
着(一五三八)
遣司令官

[Handwritten signature]

次官 (三艦隊長官)
次長

茅八二番電

沙市情報

信陽丸上江ノ途 十日沙市ニ寄港セル際税関手續ノ為
上陸セル買辦ハ正規兵ニ、東組火夫一名ハ反日會員ニ
恐喝セラレタリ

領事館(正規兵守備)日清倉庫「ハルク」等異状無キモ
日清關係支那人三名反日會ニ監禁セラレ身代金四萬弗
ヲ要求セラレツツアリト

1207

宜昌領事ハ十日同地官憲ヲ経テ反日行為取締ニ関シ
沙市官憲ニ警告ヲ發セリ(比良、宜昌十一日)

514

(0061

513

0060

1207



三月十五日 本社著電
 沙市反日氣分濃厚我社關係支那人目下反日會ニ監禁サレ居ル由信陽丸
 上航税關手續ニ際シ反日會ニ妨害サレル今航下航取敢ス沙市寄港見合
 ス豫定ト宜昌來電

516

0063

1207



通商局



外務省

亞細亞局長殿

遞信省 管船局長



船監第三四二號

昭和七年三月十九日

沙市反日狀況之件
 本件ニ關シ日清汽船會社ヨリ同社宜昌出張所來電別紙寫ノ通届出有之
 候條爲参考及送附候

515

0062 (記)

亞細亞局

第一課

昭和七年三月廿二日接受

1207

七、四、四、一四三、
二三五四、無線、安定發、(四一七)

第一遣外艦隊司令官

次官 (第三艦隊司令官)

第九二番電

沙市情報 (比良三日)

一、領事館ハ公安局巡警ニ名交替警戒ニ任ジ日清ハルク
倉庫等異狀無シ

二、市中排日傳單無ク外見ノミナラス關係者ノ談ヲ綜合スレニ
排日ハ次第ニ鎮靜ニ赴キツツアル事確實ナリ

三、沙市近郊共匪ノ跋扈甚シク排日ト相俟ツテ商取引
皆無、市中ノ不景氣深刻ナリ

517

0064

研
の

1207

四、最近漸次宜昌ニ離着シツツアル二十一軍四師二旅ノ
増援ヲ得テ大々的ニ掃匪ヲ行ツ計畫ナリト云フ

518

0065

10.19

電信課長

次大臣

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人文 會計

寫送先

1207

昭和8 二〇四三九 略

廣田外務大臣

第二九一號

沙市發本官宛電報

第二號

本官着任以來十日間當地支那側全般ニ亙リ接觸ノ結果軍部ヲ始トシ
地方官民共ニ對日感情良好ニシテ官憲側ハ進ンテ保護方ヲ申出テ商
民モ日貨取引ノ有利ナルコトヲ強調シ居ル状態ニシテ當館並在留民
ノ遺留財産ハ完全ニ保管サレ居レリ
棉花米穀等ノ土產物ハ近時稀ナル出來榮ナルカ之カ買付並日本品ノ

漢口 十六日後發
本省 十月十六日後着

清水總領事

排日排官系
排日排官系
排日排官系

外務省

519

0066

1207

賣込ニ關シテハ關稅並地方稅等ノ關係上沙市以外ノ下流商市ニ於テ
行フヲ有利トスルモノモアル模様ナルカ當地邦人商社留守居支那人
ノ申出ニ依レハ自分等支那人カ日本人ニ代ツテ賣買ヲ敢行スルコト
ハ其ノ結果ニ對シテ責任ヲ負フコト不可能ナルモ邦人ノ出張ヲ見領
事館保護ノ下ニ之ヲ行フコトハ何等支障無カルヘント述ヘ居リ尙又
從來日清汽船ノ支那人乘客ハ當地ニ於テハ下船者ノミニテ乗船者モ
無カリシ處十四日宜昌へ上航ノ際始メテ約十名ノ乗船者アリタリ
地方ノ治安ハ徐源泉軍ニ依リ維持サレ居リ四川軍トノ聯絡協調モ成
立シ居ルモノノ如ク共匪ノ危險除去サレ居ルモ連年ノ匪害水害ノ爲
地方ノ民間疲弊甚シキカ如シ
排日團體タル沙市民衆救國會ハ有名無實ノ状態ニシテ商務會長ノ如

外務省

520

0067

寫送先

大臣 次官 電信課長
亞細亞 歐米 條約 情報 人文 文書 會社

1207

1.20

(1207/1207-5)

昭和9 一〇九八 暗 漢口 十八日後發 亞、通
 本省 一月十八日後着

廣田外務大臣
 第七號
 沙市發本官宛電報
 第四號
 大臣へ轉電アリ度シ
 第二號

當地唯一ノ排日團體タル民衆救國會ハ黨部後援ノ下ニ公私各方面ヨ
 リノ強制的寄附ニヨリ辛ウシテ其ノ命脈ヲ維持シ居リタルカ一方年
 來ノ匪害水災及一般的不況ノ爲極度ノ窮況ニ陥リ居ル一般農商民ノ

清水總領事

排日排外 並保

522 0069

外務省

1207

キモ該會ノ委員トシテ名ヲ連ネ居ルモ本人ノ直話ニ依レハ右ハ勢已
 ムヲ得サルニ出テタルモノニシテ地方民ノ購買力減退セル現在ニ於
 テハ如何ニシテモ安價有利ナル日本品ヲ取引スルニ非サレハ營業不
 能ナリトテ本官ノ援助ヲ希望シ居レリ
 概況右ノ如クナルカ今日迄ノ所邦人商社員ノ來住者一名モ無シ
 大臣、支、北平、南京、滿へ轉電アリ度シ
 宜昌へ暗送セリ

外務省

521 0068

法會ニ對ス反感漸次高マリ來タリ土貨及日貨ノ賣買ヲ阻害スル該會
 ノ排日行爲ハ當地方ノ經濟的自殺ニ外ナラズトノ聲ヲ聞クニ至リ又
 他方當館ニ於テモ開館以來機會アル毎ニ支那側軍政商各界ノ首腦者
 ニ對シ斯ル非合法團體ノ不法行爲ヲ看過シ日支人間ノ取引ノ自由ヲ
 阻害スルコトハ地方ノ爲不利ナル所以ヲ説キ何レモ充分之ヲ諒解シ
 居リタルヲ以テ更ニ當館ニ於テハ日清汽船及吉田洋行ノ經理等ヲシ
 テ萬一事件ノ發(生)ノ場合ニハ當館ニ於テ充分援助スヘキニ付安
 心シテ取引ヲ開始スル様支那人間ニ勸説セシメ置キタル處一部紡績
 會社ノ株主以外ノ者ハ全部其ノ意ヲ体シ時機ノ到來ヲ待望シ居リタ
 ルカ今回該救國會ノ第七期執監兩委員ノ任期滿了ノ機會ニ於テ一昨
 十五日大會ヲ開催シタルモ殆ト出席者ナク次期委員ノ選出不能ニ終

外務省

リ僅ニ數名ノ出席者カ協議ノ結果會務及日貨検査ノ停止ヲ決議シ來
 ル二十五日迄ニ會計常務整理ヲ終了ノ上解散スルコトトナリタル由
 ニテ右ハ新聞ニモ發表サレ居レリ
 支、南京へ轉電セリ
 支ヨリ上海へ轉報アリタシ
 宜昌、重慶へ暗送セリ

外務省